

準優秀賞

たすけあい

真鶴町立まなづる小学校五年

露木 茉大

ぼくのクラスは、四年生になってはじめて一クラスになりました。一クラスになると人数が多く、最初の方は、もめたり、トラブルがおきたりして大変でした。ですが、力を合わせ協力して、そういうことをどんどんへらしていきました。じゅぎょうの時間では、一人がこまっているとみんなでサポートしたり、周りの人が助けたりしてじゅぎょうをすすめていきました。係活動では、みんなで協力してクラスがよりよくなるようにと、工夫していました。

この経験をして一人一人が協力するという大切さに気づいておもしろいやりがもてるようになりました。そして、仲良くなって友達が前よりふえて、クラス全体が楽しくなりました。

ぼくは、助け合うことにより、感謝の気持ちが生まれ助けてくれた相手やこまっている子を今度はぼくが助けてあげたいです。

そういうことをつづけることによってみんなが感謝の気持ちをもちきずなが深まるようになります。

これからも、助け合うという事の大切さをわすれずにいきたいです。

あと、最後にいいたいことがあります。このクラスはぼくにとって最高のクラスです。